

日本の都市と建築をめぐる展覧会、上海で開催

「ストラグリング・シティーズ 60年代日本の都市プロジェクトから」展

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)では、世界各地を巡回する展覧会を通じて日本文化の様々な側面を世界中の方々に紹介する「国際交流基金海外巡回展」を行っております。このたび新たな巡回展として、都市と建築をテーマにした「ストラグリング・シティーズ 60年代日本の都市プロジェクトから」を制作しました。2010年10月の上海での展示を皮切りに世界各地を巡回します。

本展では今から50年前、1960年代に日本で盛り上がりを見せた都市への実験的な提案を入口に、現代に至るまでの都市を取り巻くさまざまな状況や、現在の東京に見られる特異性を、建築や都市の模型のみならず、アニメーションや写真スライド、映像といった多様なメディアを交えながら検証します。

ストラグリング・シティーズ 60年代日本の都市プロジェクトから

Struggling Cities: from Japanese Urban Projects in the 1960s

主催 国際交流基金、上海市对外文化交流協会、在上海日本国総領事館
 企画 日埜 直彦 (建築家)
 会場 上海環球金融中心(上海世界金融センター)2F ショールーム
 会期 2010年10月14日(木)~11月7日(日) <25日間> 会期中は無休、入場無料

上海展特別シンポジウム「超都市 上海」

日時 2010年10月16日(土) 15:00~17:00
 講演 磯崎 新 (建築家)
 対談 伍江 (ウー・ジャン) 同済大学副校長
 会場 同済大学 (Tongji University, 上海市四平路 1239 号) 129 礼堂
 入場無料 ・日本語、中国語による同時通訳



丹下 健三「東京計画 1960」 photo: 村井修



磯崎 新「空中都市」 photo: 大高隆

お問い合わせ: 国際交流基金 文化事業部 造形美術チーム 担当: 成山

電話 03 5369 6062 FAX: 03 5369 - 6038 E-mail: Reiko_Nariyama@jpf.go.jp

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1

www.jpf.go.jp

展覧会構成

序章 History of the Ideal city

多くの都市は地形や河川や港をよりどころに自然成長したが、理想像に向けて体系的に都市を造った事例が歴史上いくつかある。そこに現れている都市像の多様性を見てみよう。社会が抱いた独特の世界観がそこには現れている。

1章 Ambitious Urban Projects in Japan

1960年代初頭に日本で重要な都市プロジェクトが3つ発表されている。いずれも実現はしなかったが、この3つの理想像を通して都市が抱え込んでいた困難とその変化を見ることが出来る。それは東京固有のものというよりも、近代化する都市が普遍的に直面した困難である。

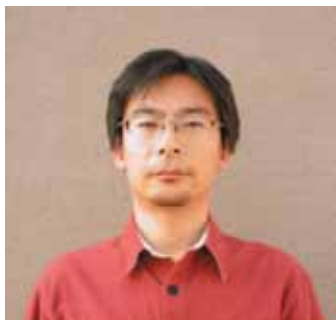
2章 World Cities in the 1960s and 1970s

1960年代から70年代にかけて近代的な都市計画が世界中で実現していった。計画者が意図していた都市の構想が実際にはどのように実現したか、計画案と人工衛星から測定された都市の実像を見比べてみることで見ることが出来る。必ずしも意図通りに実現したわけではなく、むしろ都市計画が都市をコントロールすることの困難がそこに浮き彫りになっているはずだ。それは果たして失敗なのだろうか。

3章 Problematique of Cities in Our Times

世界が都市化している。都市は巨大化し、既に人類の半分がそこに住んでいる。この時代における巨大都市はどのような都市像を抱くことが出来るのだろうか。世界最初のメガシティである東京を一つの事例として、都市は現実にもどのように生き延びるのか考えてみたい。

企画 日埜直彦 Naohiko HINO



建築家。設計活動の他、数多くの評論を手がける。

1971年生まれ。大阪大学工学部建築工学科卒。1994年よりアークスコーベ勤務後、2002年日埜建築設計事務所を立ち上げ。2005年より、芝浦工業大学非常勤講師。主な作品に「ギャラリー小柳ビューイングルーム」(杉本博司と協同、JCD デザイン賞優秀賞)、「セントラルビル」(水戸芸術館「カフェイン水戸 2004」展参加作品)、横浜トリエンナーレ 2008 会場構成(BankART Studio NYK) など。雑誌掲載多数。主な論文に「ポストモダニズムと建築」(10+1 連載 No.32-39)、「リアリティーについて」(10+1 連載 No.40-48)、「見えない都市」の建築家」(思想 2007.04) など。磯崎新インタビュー集が2010年秋に刊行予定。

この展覧会は、国際交流基金が主催する「海外巡回展」として企画され、2010年10月より、5年～10年間、全世界を巡回する予定です。

国際交流基金 海外巡回展とは

国際交流基金では、当基金所蔵の美術作品を展覧会セットに仕立て、海外に巡回する巡回展事業を行っています。展覧会セットは、陶芸・工芸・日本人形など日本の伝統を紹介する展覧会から、現代美術・写真・建築・デザインなど現代の日本を伝える展覧会まで多岐にわたります。展覧会は、日本の在外公館及び国際交流基金海外拠点が各地の美術館、文化機関とともに共催事業として実施しています。現在、23の展覧会セットが常時世界各地を巡回。年間100ヶ所以上の美術館、文化機関などで展示紹介されています。

詳細はウェブサイトをご覧ください。 <http://www.jpf.go.jp/j/culture/exhibit/oversea/traveling/index.html>

お問い合わせ：国際交流基金 文化事業部 造形美術チーム 担当：成山

電話 03 5369 6062 FAX:03 5369 - 6038 E-mail: Reiko_Nariyama@jpf.go.jp

国際交流基金

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1

www.jpf.go.jp